

会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成26年度第1回臨時会
開催日時	平成26年9月11日（木曜日）午後3時から5時まで
開催場所	田無公民館3階 会議室
出席者	委員：小西委員、鈴木委員、山田委員、山本委員、倉内委員、川口委員、足立委員 事務局：奈良館長、中村副館長、中村副主幹、吉野庶務係長
傍聴者	3名
議題	1 諸報告 2 西東京市図書館基本計画・展望計画について 3 その他
会議資料の名称	1 西東京市図書館基本計画・展望計画に係る資料
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>会長： 定刻になりましたので、図書館協議会第1回臨時会を始めさせていただきます。最初に館長から諸報告をお願いいたします。</p> <p>館長： 8月の教育委員会で児童虐待、下野谷遺跡の土地の購入、中央図書館・田無公民館・市民会館の耐震化についての報告がありました。</p> <p>○会長： 今の館長からの報告について何か質問等がありますでしょうか。 それでは、西東京市図書館基本計画・展望計画の中間報告に移りたいと思います。 今回の評価は、10年間の「基本計画・展望計画」の前半期はどうであったかということになります。 それでは、評価について、協議を行いたいと思います。</p> <p>以下協議会評価</p>	

-1資料計画

1資料計画

1蔵書新鮮度

蔵書新鮮度は、その年度に受入れた本を蔵書で割るということで、およそ全国平均で5パーセントになる。除架作業など蔵書の廃棄によっても数値はあがるので、新刊書の割合の目安にはなるが、蔵書の廃棄を促進するようなことは本末転倒になるので注意していただきたい。

資料購入については、財政状況の厳しい中、資料購入費の維持に努め、平均26,000冊の受入冊数を確保したことは大いに評価できる。

保存問題について、保存場所を記載する箇所が無いので、「保存スペース」についてここに加えたい。

2逐次刊行物資料

バックナンバーの保存については、近隣図書館との分担保存等を引き続き強化していただきたい。

雑誌のタイトル数の増加は、予算の制約、配架スペース不足等、困難な状況にあることは理解しているが、利用者の需要も高いので引き続き努力目標としていただきたい。

1年以内の雑誌のバックナンバーの貸出中が多く、書架にない状態が多いので改善方策を検討していただきたい。

○会長：

西東京市の図書館の雑誌について、率直なご意見をうかがいたいのですが。

○委員：

読みたい雑誌の最近のものが書架にないことが多いので、3年前の雑誌を保管するよりは、ここ1年間の雑誌が多い方が良く思うのですが。

○館長：

この問題に関しては、書籍についてもいえることですが、需要があるからといって複数購入しようということにはなりません。

○会長：

書架にないということは貸出中で動いているということなので、あとできることは、貸出できるのを1か月から2か月を過ぎたものにするということなどでしょうか。

3視聴覚資料

「収集方法」に基づき、音楽CD等の分野で良質なコレクションが形成されていることを評価したい。

市販映像資料の中でも、遡及的に価値があると考えられる歴史映像や名画についても収集保存対象に加えるよう検討していただきたい。その際、あわせて視聴ブースの設置等視聴環境の整備についても検討いただきたい。

4レファレンス資料

紙媒体のレファレンス資料は、利用者に様々な調査資料の存在を知らせるためにも必要なもので、引き続き収集いただきたい。

電子レファレンス資料については、紙媒体にないものを中心に、予算の許容する範囲で揃える努力をしていただきたい。

5児童・青少年団資料

紙芝居については絶版だったものが再販されるケースも出ているので、再販状況をよく把握して質の良いものを購入してほしい。大型絵本の汚損・破損は使用頻度が高いからこそ生じることなので、ぜひ再購入して対応いただきたい。

外国絵本については、出版が欧米に偏っていて、欧米以外の良質な絵本を揃えることが難しい状況なので、日本語を母国語としない子どもに対する読書環境を整えるために、日本の優れた絵本の多言語化への取組みを試みていただきたい。

6地域行政資料

地域・行政資料の整備・充実については、図書館の重点課題として取組み、充分その成果があらわれていることを大いに評価したい。

特に、西東京市関係新聞記事切り抜きの索引のWeb公開等。利用者のニーズに応えた良い取り組みとなっている。

7音声資料、点字資料等

デイジー図書の作成への積極的、継続的な取組みを大いに評価する。特に「広報西東京」のデイジー化（平成24年度）は利用者からの評価も高い。

-2サービス計画

-2-1成人サービス

1一般図書サービス

図書館主催の講座や講演会については、市民のニーズを十分に把握して、一層の充実を図るように努めていただきたい。

シニア世代向けの資料選定を充実していただきたい。

子育て世代・青年層・主婦層・外国人を対象とした新たなサービスの展開を期待する（現在は、ビジネスパーソンとシニアのみ）。

自動貸出機の導入、自動返却設備、予約棚の整備、返却ポストの増設等、貸出返却サービス環境の著しい整備充実を評価したい。

○委員：

現在は、ビジネスパーソンとシニア以外の子育て世代・青年層・主婦層・外国人を対象としたサービスを展開してほしいと思います。この中で、現実として主婦層という層があるのかという疑問に思いますが。

-2-2児童サービス

1子どもと本を結びつける役割を果たします。

- (1) 子ども用ホームページの充実
- (2) 行事の見直し・充実
- (3) おはなし会ボランティアによる児童サービス事業の推進

2児童書や児童の読書に関する質問にお答えします。

この項に「青少年サービス」を含むと、ただし書きすること。

子ども向け行事については、行事のねらいや内容を図書館全体で検討し、広報も含めて一層の充実を図るよう希望する。

図書館のおはなし会については意義づけを明確にし、おはなし会ボランティアの意識を高める働きかけを行っていただきたい、また、おはなし会の運営は、ボランティアグループ間の調整を含め、図書館側のイニシアティブの下で進めていきたい。

「絵本と子育て事業」のフォローアップを3歳児検診時に実施することを検討するとともに、母子保健課以外の他の関連課（保育課、児童青少年課、子育て支援課等）との協働で子供と本をつなぐ事業を検討していただきたい。

「西東京市子ども読書活動推進計画」と連動し、中間報告書を作成するなど推進計画に寄与したことを評価したい。

○委員：

おはなし会ボランティアについても、図書館側から方針等を話す場を設けていただくとボランティア間で共通認識がもてます。

○館長：

担当者が、協働で行うか、育成で行うかの認識がはっきりしていないと思います。

○委員：

この表についてですが、児童サービスについてだけ、項目の表現が異なっています。

○会長：

最終的な形の表を調整し作成しますので、次回、ご指摘等いただきたいと思ます。

-2-3レファレンスサービス

「レファレンス事例データベース」(国立国会図書館)への参加、ウェブ受付の開始など、レファレンスサービスへの積極的な取組みが評価される。

利用者からの要望の高い図書館利用法やレファレンスに関する講座の開催を希望する。

-2-4地域・行政資料サービス

庁舎内はもとより市内の関連機関との連携が進んでいることは評価したい。西東京市に関する資料は図書館が集めていることをさらに周知徹底し、協力を得られるよう努力していただきたい。

-2-5ハンディキャップサービス

市内在住の視覚障がい者へのアンケート等を実施し、その結果を受けて視覚障がい者や来館できない高齢者への宅配サービス開始したことは大いに評価される。

デイジー編集者のための養成講座を開き、多くのデイジー編集ボランティアを養成している活動を大いに評価したい。

Ⅲ職員組織計画

-1職員組織の現状

-2職員組織計画の考え方

-3人事計画

1正規職員配置計画

2職員採用

3図書館嘱託員

限られた職員及び嘱託員の体制で、同規模自治体トップレベルの図書館サービスを実施していることを評価したい。また、司書資格保有率は、全国平均の54.5パーセント（平成23年度社会教育調査の専任の保有率）を大きく上回っており、今後とも専門的職員の拡充に努めていただきたい。

平成24年度に専任の司書5人を採用した点を大いに評価したい。

-4研修計画

1成人サービス部門

2レファレンスサービス部門

3児童サービス部門

4地域・行政資料サービス部門

5ハンディキャップサービス部門

平成24年度から第3金曜日の休館日を活用して職員研修を開催していることは評価できる。年度毎の研修計画を立て定期的実施するとともに、さらに研修成果の上がる内容を工夫いただきたい。

外部研修へのより積極的な参加と職員個々人の自己研鑽を求めたい。

各ボランティアに対する研修についても、担当職員の要請とボランティアの役割に則した研修内容（例えば、おはなし会）の企画をお願いしたい。

○委員：

第3金曜日の休館日を活用した職員研修についてですが、どのように計画を立てているのでしょうか。

○副館長：

前年度に、計画をたてています。ただ、その時の状況で計画の変更はありますが。

-5意識改革

1意識改革への取組み

2市民の声を聴く

各職員が担当業務の専門性を持ち、日々その専門性を磨いている点は評価できるが、あわせて他部門の業務や図書館以外の公務全体への視野も広げるよう意識を持っていただきたい。

市民から寄せられた意見（投書などによる）を返す仕組みの検討を求めたい。

今までのところで、お気づきの点や気になる点があればお知らせください。これを最終とするのには、今回修正したものを皆様に送付し、付け加える点があれば修正し、字句等を図書館で見直し最終バージョンとしたいと思います。

○副館長：

図書館の見学についてですが、11月27日に三鷹市立南部図書館みんなみ、武蔵野市立中央図書館に行きます。午後1時に三鷹市立南部図書館みんなみの前に集合いたしますのでよろしくお願いいたします。

会長：

それでは、本日の臨時会を終了いたします。次回は11月20日(木曜日)になりますのでよろしくお願いいたします。